

知 基 第 83 号  
令和 6 年 6 月 20 日

沖縄防衛局長  
伊藤 晋哉 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



米海軍無人偵察機MQ-4の嘉手納飛行場への一時展開について（要請）

令和 6 年 5 月 10 日、貴局から米海軍無人偵察機MQ-4が今年 5 月から 10 月の間、嘉手納飛行場へ 2 機一時展開されるとの説明があり、6 月 9 日までに同飛行場に飛来しています。

嘉手納飛行場を巡っては、パラシュート降下訓練、パパループの使用、相次ぐ外来機の飛来などにより、政府が取り組むとしている周辺住民の更なる負担軽減と逆行する状況が続いているため、県は去る 5 月 10 日、日米両政府に対し、嘉手納飛行場の負担軽減について要請したところで

す。

このように、同飛行場における基地負担の軽減が進まない中では、一時展開であったとしても、県としては、MQ-4の展開は新たな基地負担になると考えており、認め難いものであります。

また、貴局に対し、来年以降のMQ-4の展開について照会したところ、明確な回答はなく、来年以降も今回同様の展開が行われることを危惧しております。

については、下記の事項について強く要請します。

#### 記

- 1 MQ-4の運用に当たっては、地域住民の安全確保を最優先するとともに、一時展開の期間を短縮する等、配備計画の見直しを検討すること。また、今後県内で一時展開又は配備を行わないこと。
- 2 MQ-4の運用に当たっては、市街地上空及び夜間早朝の飛行は行わず、周辺住民へ与える影響を最小限にとどめること。
- 3 嘉手納飛行場について、目に見える形での基地負担軽減に取り組むこと。